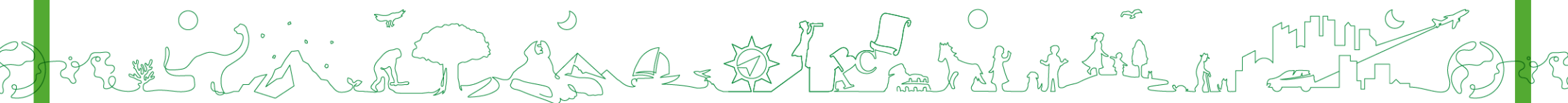


保険事業における収益力アップ戦略 ～保険・顧客・病院のベスト・バランス～



2025.10.08

アニコム ホールディングス株式会社



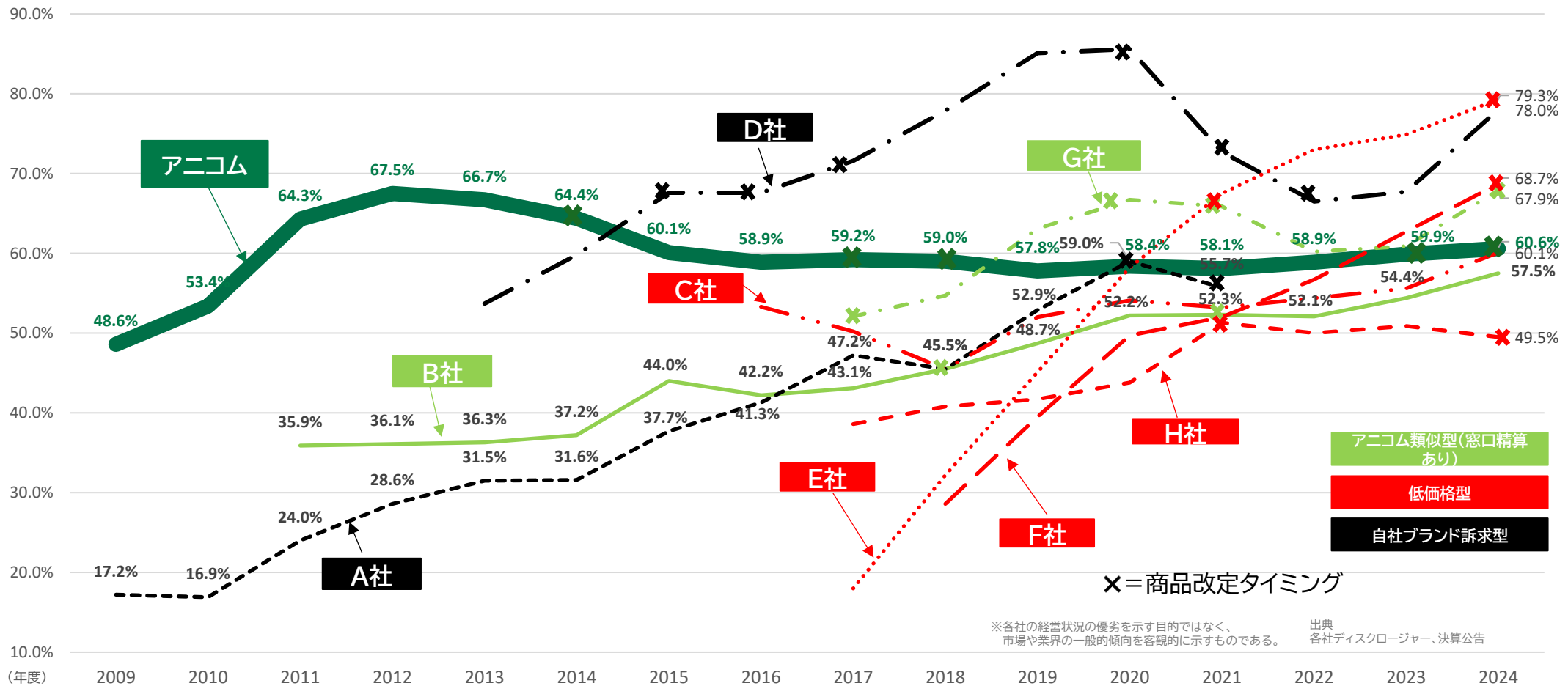
1. アニコム損保の収益力について ～安定状況～
2. ペット保険のマネジメントのキーは「動物病院」
3. 保険・医療の共進化は免疫がドライバー ～ノーベル賞受賞の制御性T細胞～
4. ペットがリード

1. アニコム損保の収益力について～安定状況～

(1) ペット保険における各社比較

各社の**損害率**(EIベース)の状況

「保険料 < 支払保険金」で収支悪化



- 適切な保険料「遺伝・免疫等リスクに合わせた保険料+儲け（付加価値）」設定
- 医療連携（マネジメント）

構造的リスクマネジメントが重要

1. アニコム損保の収益力について～安定状況～

保険会社の経営はバランスをとるのがとても難しい



ペット保険は人為的リスクが多い



【自動車保険との比較】

自動車保険では製造業者などの事業者による不正やユーザーの誤操作は極めて稀であり、行政による取締体制も十分整備されている。

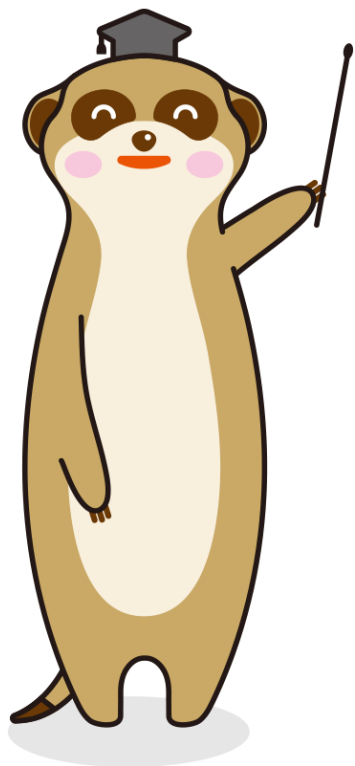
	① メーカーによるリスク	② ディーラーリスク	③ 法令(社会的)リスク	④ ユーザーリスク	⑤ リペアリスク
	製造業者	販売業者	行政	消費者	修理業者
自動車 	エンジン等の不良	ディーラーオプション 使用説明不全	メーカー等の品質規制 や、信号機等	誤った給油 運転操作ミス	正しい修理工場管理
	ブリーダー業者	ペットショップ	ペット業界	飼い主	どうぶつ病院
ペット 	ブリーディング不全 (避けるべき遺伝病・未 熟出荷)	未熟販売(免疫の成熟 化・社会化)や、食事 指導不足	動物愛護法(ブリー ダー・ペットショップ の未熟販売規制)	単調なご飯・口腔ケア 不足	動物病院の過剰・不正 請求リスク

情報の非対称性あり

1. アニコム損保の収益力について～安定状況～

(2) 保険収益の公式

頂いた保険料 > お支払い保険金



逆転すれば、お客様ニッコリ・保険会社涙！



収益力が低下している会社は、逆転状況になっている契約が多数存在する可能性がある。

1. アニコム損保の収益力について～安定状況～



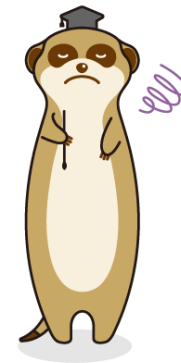
(3) 保険料の適正な水準を維持し、保険金の支払いの適切さを確保するには？

①保険料は安価に流されやすい

I 付加価値が無ければ保険料は安価設定されやすい

価格引き下げのスパイラルで収支悪化へ

どれも同じ保険でしゅな！
名前が違うだけでしゅな。



II 当社独自の付加価値

健康を保つキーは「免疫の見える化」 & 「免疫力の維持」
保険料を高位に保ち得る可能性が高まる



「入って健康になる保険」で
グッドデザイン賞受賞！

あそこだけ、
入って健康になるんでしゅな！



良いフードを教えてくれて、
痛みも後遺症も少ない医療を
提供してくれるんでしゅな。

付加価値として新たな安心の創造

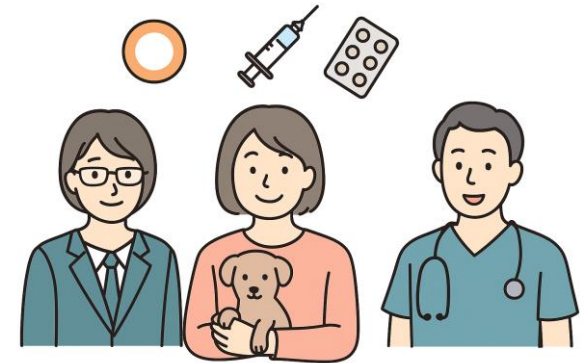
1. アニコム損保の収益力について～安定状況～

(3) 保険料を高位に保ち、保険金をより適正化するには？

②一方、保険金は高額化しやすい

I 飼い主は最良の治療を望む

保険料を支払ってまで保険に入る属性の飼い主は、できる限りの治療を受けさせてあげたいという思いが強い傾向にある。
また保険加入によって支払い負担が軽減されるため、治療選択のハードルが下がり、結果として医療費全体の上昇圧力がかかる。



II 動物病院は保険カバーがあると出来る限りの治療等を行い、総診療報酬が上昇しがち。

病院側も、飼い主の費用負担を気にせず、検査・治療の選択肢を広げやすい。さらに「保険が下支えする安心感」により、高単価治療の導入（医療機器・専門治療）を推進しやすくなる。
これは医療の質向上という正の側面がある一方で、支払保険金の高額化を招く構造的要因となる。



だからこそ、正しく・短期間で治す病院へ送客することが収益安定の核心

1. アニコム損保の収益力について～安定状況～

(4) 収益力アップに必要な戦略

①保険料について

より高位な保険料設定を維持するために必要なことは、
真の顧客ニーズを満たし続けること。
そのためには、

その1 迅速な保険金支払い

窓口精算 今後はより安心できる病院紹介

その2 入って健康になる

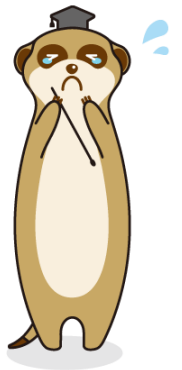
アニコム損保の「どうぶつ健保」は、2024年度「入って健康になる保険」で
グッドデザイン賞受賞

その3 万が一でも安心提供

医療はミクロの安心提供、保険はマクロの安心提供、統合的になる時。

そもそも 保険・医療は社会のセーフティ・インフラであり社会的使命は同じ。
医療はミクロの安心提供、保険はマクロの安心提供、統合的になる時。
ミクロ過ぎて見えなかったものを、確率統計分析、ビッグデータに基づいたAI活用等
マクロ的統合による新たな見える化で安心創造。

病気になってからじゃ
遅いでしゅな。



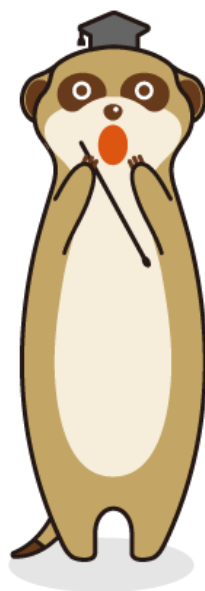
1. アニコム損保の収益力について～安定状況～

(4) 収益力アップに必要な戦略

②どうぶつ病院について

疾患発症リスクは本来「免疫低下」が背景にあると思われる。
長期治療が必要になる場合も同様に「免疫低下」が背景にある場合が多いと思われる。

すなわち、「免疫の状況」と「疾患発症・治療効率の状況」比較で、
医療行動の効率性をマクロ的にマネジメントできる可能性がある。



もしかして
今回のノーベル賞と
関係があるのじゃか？

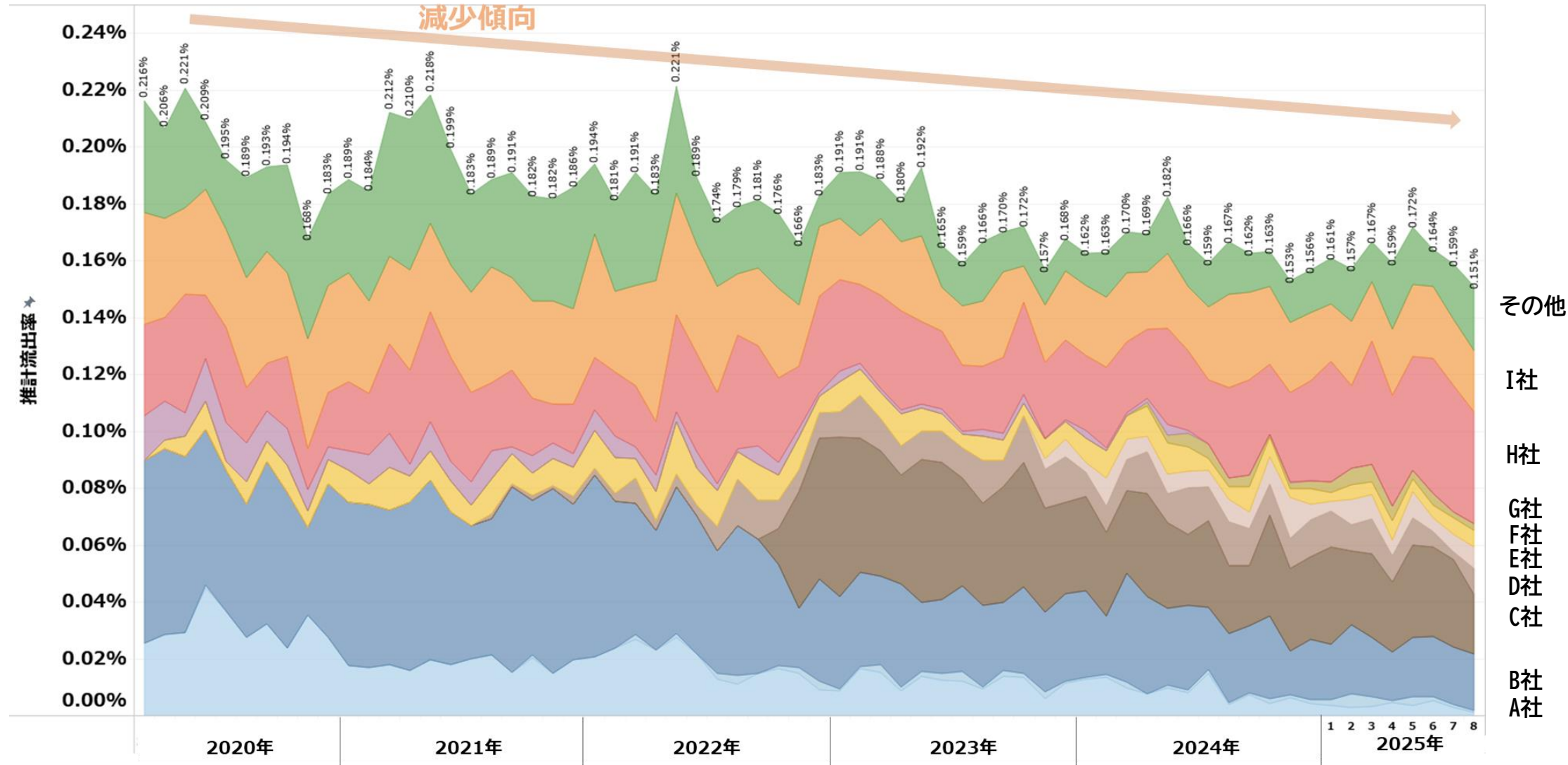
1. アニコム損保の収益力について～安定状況～

(5) 実際の状況

①アニコム損保からの流出の状況（比率ベース）

■解約時アンケート：2020年3月～2025年8月

(※)非継続契約者に対するWebアンケート結果を用いて推計したアニコム損保から他社へ流出した保険契約件数が、流出が発生した月の保有契約件数に占める割合



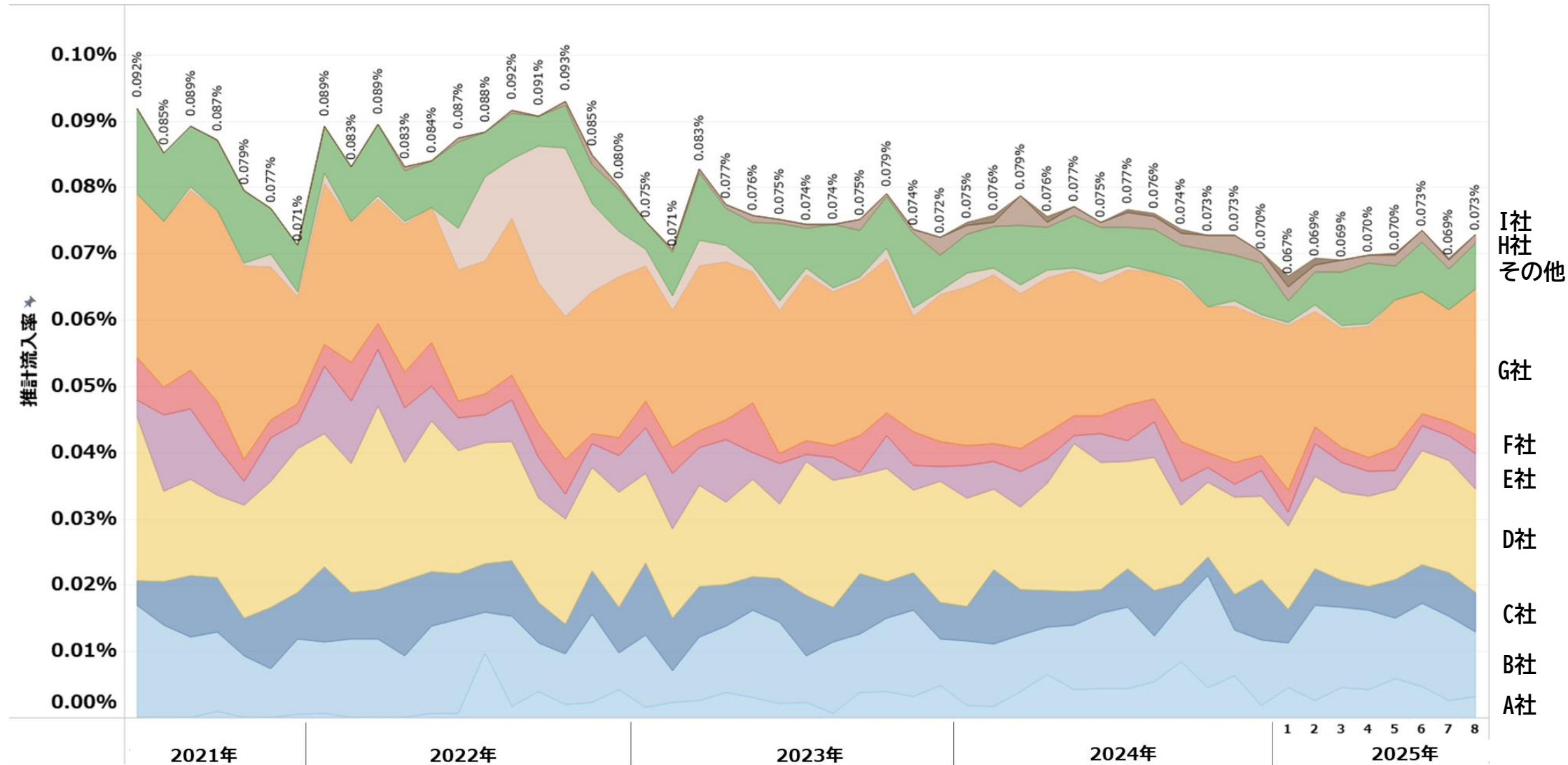
他社への流出は減少傾向

1. アニコム損保の収益力について～安定状況～

(5) 実際の状況

②アニコム損保への流入の状況（比率ベース）

■解約時アンケート：2020年3月～2025年8月
 (※)新規加入者に対するWebアンケート結果を用いて推計した他社からアニコム損保へ流入した保険契約件数が流入が発生した月の保有契約件数に占める割合。
 (※)特定ポートフォリオからの流入を含まない。



他社からの流入は横ばい

1. アニコム損保の収益力について～安定状況～

③既に参考純率化が決定（異常な低価格があり得た場合は、適正化へ）

参考純率とは：損害保険料率算出機構が算出する純保険料率

損害保険において、これまでは
以下5種目が参考純率算出対象

- ・火災保険
- ・自動車保険
- ・傷害保険
- ・医療費用保険
- ・介護費用保険



これまでの5種目に加え、ペット保険を含む5種目が追加

- | | | |
|---------|---|--------------|
| ・火災保険 | + | ・賠償責任保険 |
| ・自動車保険 | | ・事業活動損害保険 |
| ・傷害保険 | | ・労働者災害補償責任保険 |
| ・医療費用保険 | | ・動産総合保険 |
| ・介護費用保険 | | ・ペット保険 |

「損害保険業等に関する制度等ワーキング・グループ」報告書（抄）

Ⅲ 4（3）参考純率算出及び標準約款作成の対象となる保険種目の拡大

今般の保険料調整行為事案の背景として、企業向け損害保険商品の取扱いが大手損害保険会社に集中しており、市場競争が十分に機能しなかったことがその要因の一つであるとの指摘がある。

このため、参考純率算出・標準約款作成の対象種目を拡大し、保険料率の算出や保険約款の作成に係るコストを低減することにより、中長期的に中小規模の損害保険会社の商品開発や新規参入を促進していくことが適切である。これにより、保険市場全体の効率化や保険会社の商品開発能力の向上等にも資することが期待される。

その際、拡大する保険種目については、損害保険業界のニーズ等を踏まえながら、企業向けに限らず個人向け保険への拡大も含めて検討することも考えられる。ただし、保険種目によっては保険契約及び保険金支払いのデータが少なく参考純率が適正な水準とならない可能性があり、その場合、集積リスクが顕在化した際に中小規模の損害保険会社の収支に影響を及ぼす可能性があることから、こうした種目への拡大については慎重に考えるべきである。

1. アニコム損保の収益力について～安定状況～



④なぜペット保険・動物病院が必要か？

「犬・猫は世界一可愛い。が、世界一か弱く、守り抜く義務がある。

犬4万年・猫9千年、これは、近親交配の歴史。遺伝多様性の低下と引き換えに

「愛らしい瞳・けなげさ・飼い主様大好き」等の長所を獲得。

長所があれば、短所もある。

遺伝多様性の低下は、その機能発揮に多様性が必要不可欠な

免疫（多様な敵に対応）・神経（多様な状況で柔軟に対応）の機能発揮の低下に繋がり得る。

実際に、診察日当日の死亡症例の保険金請求事由の上位を、免疫と関係が高い「嘔吐・下痢・血便
胃腸炎、元気喪失」が占めている。

（これはヒトではありえない。また、混血・純血を問わずほぼ全品種の

ほぼ全ての年齢帯で、犬・猫ともに観測。すなわち、犬・猫における免疫脆弱性の存在を示唆。）

⑤なぜペットビジネスが世界中で注目されているのか？

世界中で科学技術が進化。コンビニ・ケータイ・リモートワーク、一人で生きている社会に。

しかし、一方で孤独が世界を蝕む。

（世界中で孤独・孤立対策を担う専門的な役職や機構を設置している国もあるが解決していない）

世界の孤独をペットがもつ無償の愛が癒している。

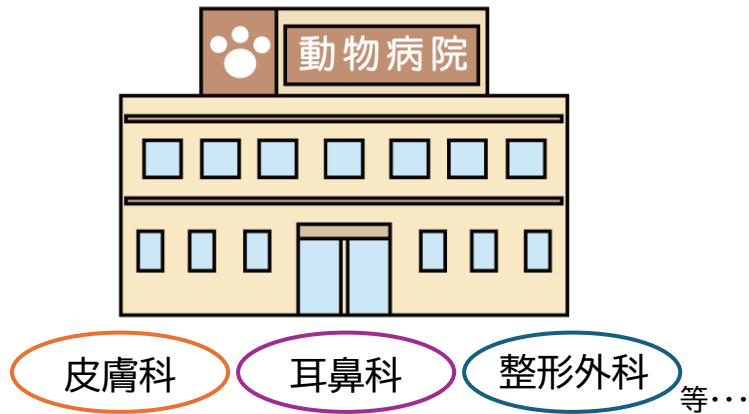
君が心の発電所となっている。

2. ペット保険のマネジメントのキーは「動物病院」

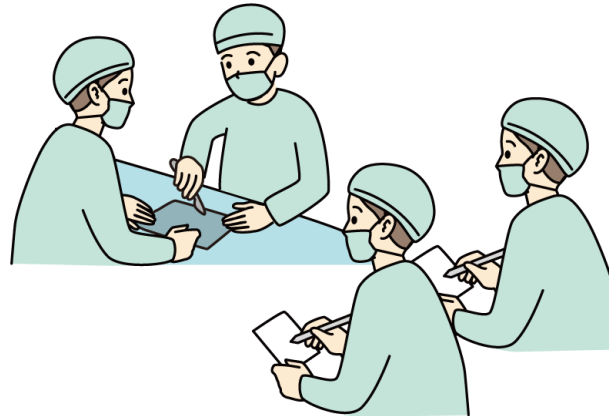
(1) 動物病院経営は効率的に運営する余地がある

- 点数制度がない自由診療＝過剰請求（価格差）が発生しやすい
- 医療課題の存在
医療格差・運営の非効率・スタッフの自己犠牲的労働といった課題が生じ、医療の公共性が損なわれるリスクを内包。

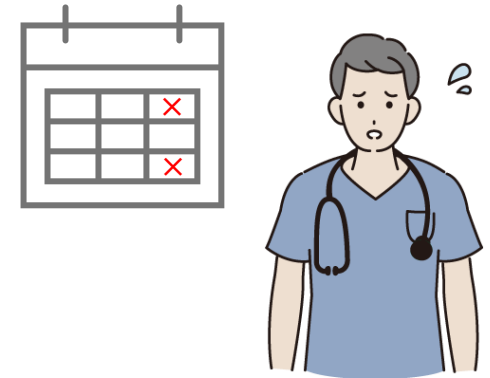
動物病院は全科診療
そのため、各機器のためにいわば「過剰投資」の状態



卒後教育が不十分。
そのため、獣医師間での手技レベルに差が開く



傷病はいつ訪れるかわからない。
しかし、動物病院は年中無休とはできないことが多い



- 集約化・分業化・AI・ロボティクス導入等による効率化の余地が極めて大きい。
- 医療効率の改善は、保険収支の改善にも繋がり得る。

2. ペット保険のマネジメントのキーは「動物病院」

(2) 獣医師ニーズの充足がキー



獣医師

できる限り多くのどうぶつの命を救いたい…
より高度な医療を実現させたい…

「獣医師が集まりたくなる病院」とは、すなわち、
“格好いい高度医療”と“教育の共有化”を実現できる病院

一方で、…

高度医療 は「**高額医療**」となる可能性がある

2つの技術で解決！

① 獣医師の身体を機械(手術支援ロボット)で代替

② 獣医師の頭脳をAIでサポート

➡ ロボ×AI導入で手技の可視化・標準化を実現させる



2. ペット保険のマネジメントのキーは「動物病院」

(3)「力覚+共有教育」を犬・猫で先に実現

①「力覚」

これまでのヒト医療は、個別の複雑な症例に機械が追いついていなかった。

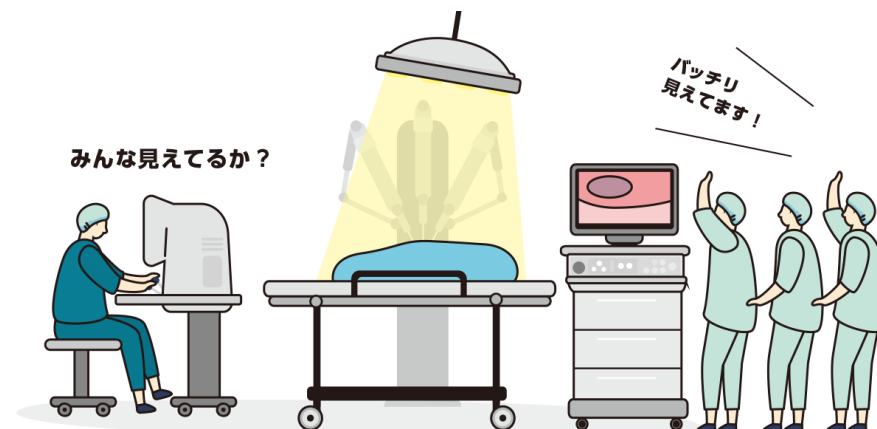
- i 手技を数値化し、操縦者に感じさせること(力覚フィードバック)
- ii 莫大なデータ・手技をAIに読み込ませること

▶ これらを行うことにより、課題を解決できると考えている

②「共有教育」



執刀医しか、術野が見えていない。



全員が執刀医と同じ視野でよく見える。

職業の社会的地位向上を含めた、

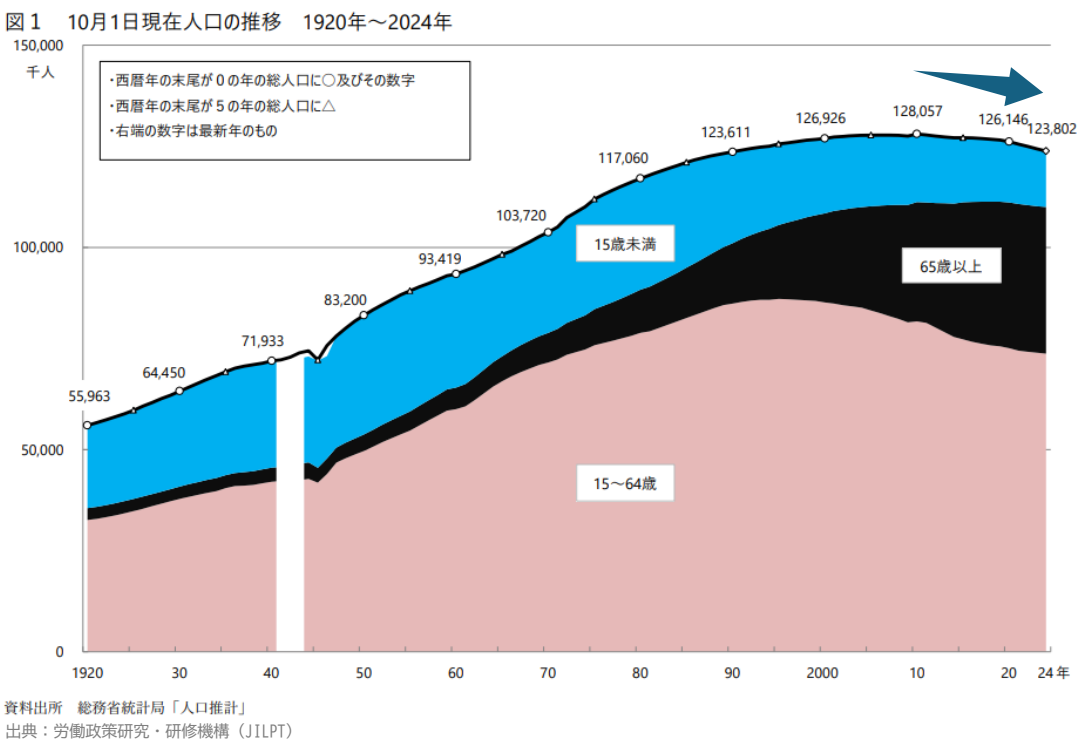
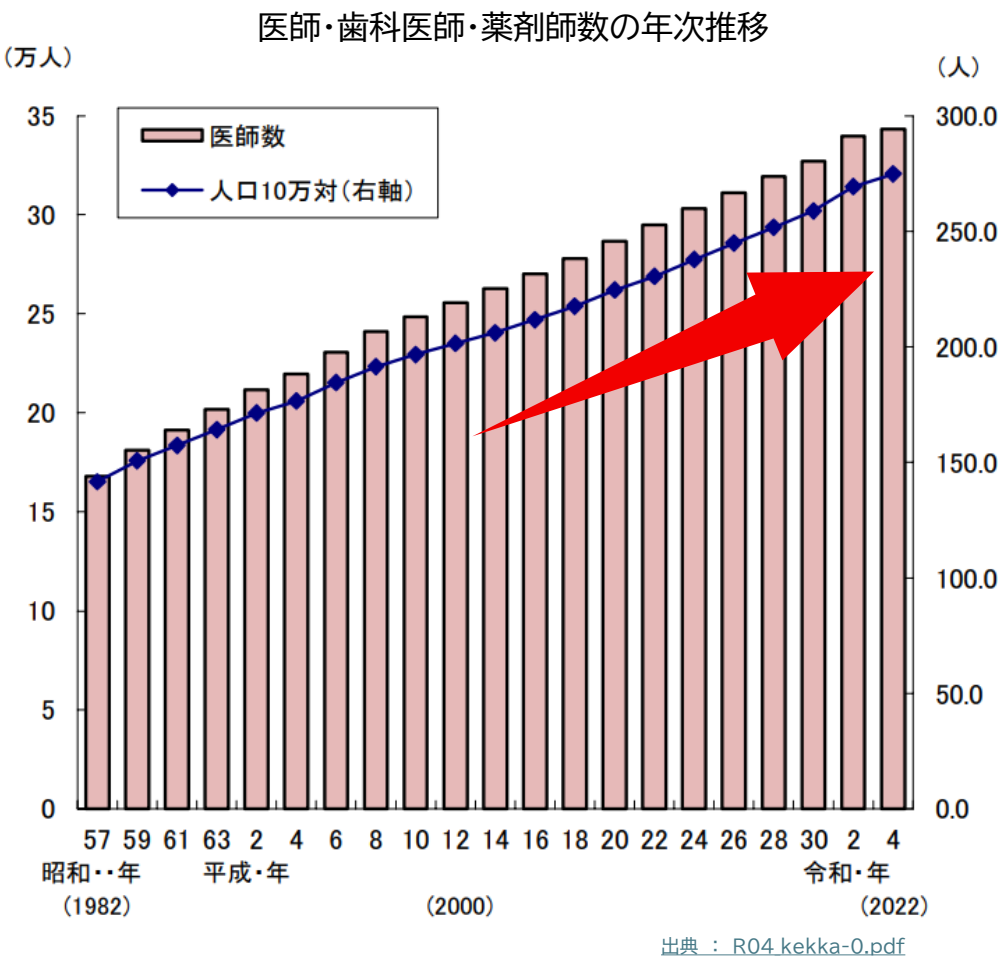
獣医師・愛玩動物看護師の就労満足度を高めることがキーと考えている

2. ペット保険のマネジメントのキーは「動物病院」



(4)ヒト医療の状況

①日本の医師総数は過去10年で増加

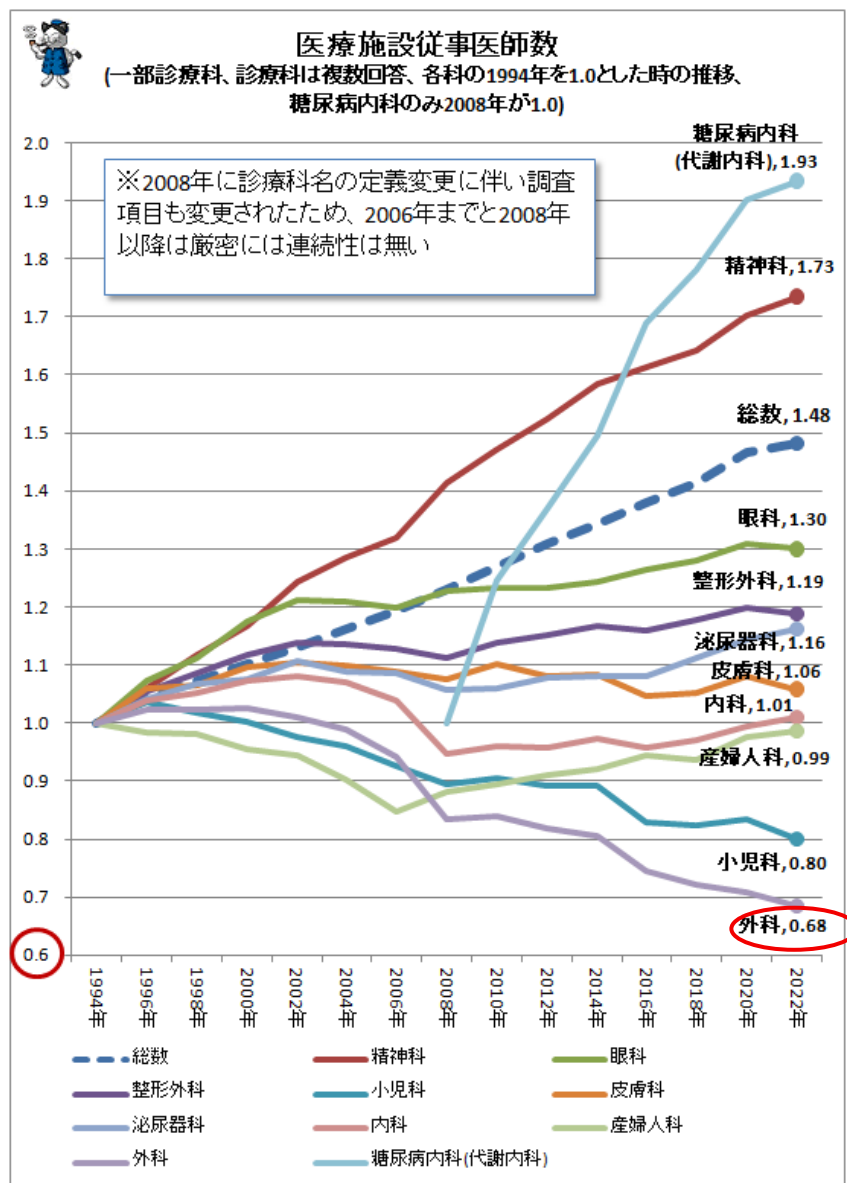


届出医師数 343,275人(令和4年)
➡前回調査比 +1.1%増
※前回調査は令和2年

一方、この期間の総人口は
継続して減少傾向にある。

2. ペット保険のマネジメントのキーは「動物病院」

(4) ヒト医療の状況



②「外科医」は約2万人(全体の約9%)に過ぎず、比率は年々低下

外科医数は1994年比で年々減少し、
2022年には0.68倍に低下。
→ 約30%の減少。

外科医減少は、医療の根幹課題である。

- i 3K (きつい・汚い・危険)
- ii 自己犠牲が強すぎる

の解決が重要。

3. 保険・医療の共進化は免疫がドライバー～ノーベル賞受賞の制御性T細胞～



最大の医療課題は 「診断の高度化」

病気の診断自体はできていることが多い。しかし、病気の原因、すなわち「病因」の診断や、病因が残り続ける「免疫低下」の診断に至り切っていないことがあり得る。この場合、対症療法に傾きがちであり、病因・免疫低下の解除が無い場合、再発や、別疾患の発症リスクがあり得る。

ノーベル賞受賞「制御性T細胞」が拓く 免疫を用いた医療の高度化

治る病気は治った。しかし、難治性・再発性は？
それは、病気の診断はできているが、病気の原因診断ができていない。



「骨・肉・血」といった身体のハードのためには栄養・カロリーが重要。



目に見えるので、異常が分かりやすい



一方で、目には見え難い免疫・神経システムのような、身体のソフトのためには多様性が重要。



目に見えず、確率的な挙動をするためこれまでの医療では異常が見えにくい

免疫関連ノーベル賞3連続受賞！
世界中から注目が集まっている

2016年 大隅教授 細胞内のオートファジーのメカニズム解明

2018年 本庶教授 免疫チェックポイント阻害因子発見

2025年 坂口教授 制御性T細胞を発見し、免疫における意義を解明

3. 保険・医療の共進化は免疫がドライバー～ノーベル賞受賞の制御性T細胞～



免疫には、「排除」と「寛容」の2種類

寛容が強すぎれば外界からの侵入を許し、
排除が強すぎれば、自己免疫性疾患等のリスクが上がる。



つまり、バランスが重要であり、それを担うのが制御性T細胞である。

2025年 坂口教授 制御性T細胞を発見し、免疫における意義を解明

制御性T細胞

制御性T細胞とは、本来は自己免疫病などにならないように、自己に対する免疫応答の抑制（免疫寛容）を司っている細胞で、健康人のCD4+T細胞のなかの約5%を占めています。

しかし、がん細胞はこの制御性T細胞を利用して、免疫系からの攻撃を回避しています。

引用：国立がん研究センター（2017年9月8日）

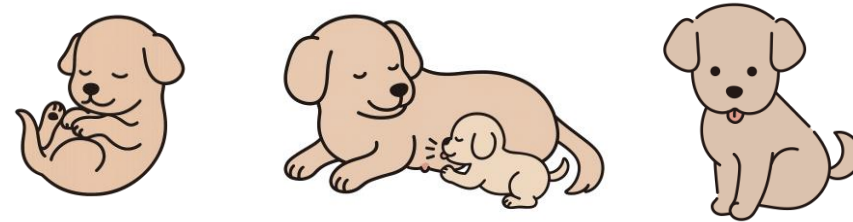
3. 保険・医療の共進化は免疫がドライバー～ノーベル賞受賞の制御性T細胞～



免疫の3次成熟期間

①第1次免疫成熟期（胎児期）

胎児の段階では、すでにNK細胞やB細胞、T細胞といった免疫細胞は存在しているが、積極的に異物を排除する働きはほとんどしていない。なぜなら、もし排除機能が強く働いてしまうと、母体の免疫や胎盤由来の抗原を「異物」とみなして攻撃してしまう危険があるからである。そのため胎児の免疫は「ボーっとしている」ような状態で、寛容に偏っている。



②第2次免疫成熟期（出生～幼齢期）

出生後、自分自身の免疫系が本格的に動き出す。この時期は「寛容と排除のバランス」を学習する段階で、排除系が優位に傾きやすいのが特徴。排除が過剰に働くと、アトピーやアレルギーといった自己免疫反応が起こりやすいが、その調整役となるのが 制御性T細胞（Treg）。

Tregは免疫の過剰反応を抑える働きを持ち、その誘導に強く関与しているのが短鎖脂肪酸の一つである酪酸。しかし、酪酸は体内でほとんど合成できない。したがって、生まれてすぐに多様な食事やフードを取り入れ、腸内細菌叢の多様性を確保することが、免疫バランスの成熟にとって極めて重要となる。

③第3次免疫成熟期（成犬・成猫期以降）

6歳を超えると、遺伝子変異を伴うがんのリスクが高まる。この段階で重要なのは 獲得免疫の成熟だ。獲得免疫は、過去に出会った抗原を「記憶」し、再び遭遇したときに迅速に対応する能力を持つ。がんや細菌に対しても、特徴を覚え込ませる必要があり、そのためには「モンタージュ写真」のように多様な抗原情報を経験することが不可欠だ。

その最大の供給源が腸内細菌叢の多様性。多様なフードから育まれる腸内細菌叢が、免疫に対して膨大な学習素材を与え、がんや感染症に立ち向かう力を鍛えていく。

3. 保険・医療の共進化は免疫がドライバー～ノーベル賞受賞の制御性T細胞～



制御性T細胞 の増殖には、**酪酸**が重要な働きをしていることが分かっている。

https://www.riken.jp/press/2013/20131114_1/

通常の細胞は血管から栄養を取り込むのに対して、
制御性T細胞は**酪酸**を栄養としている。



制御性T細胞の増殖に必要な酪酸は、主に腸内細菌叢が生成していることが知られている。

つまり、腸内細菌叢の多様性低下により
バランスが崩れることで、免疫のバランスも
崩れてしまう可能性があり得る。

こんなすごい能力持っているの、
他にいるんでしょか！

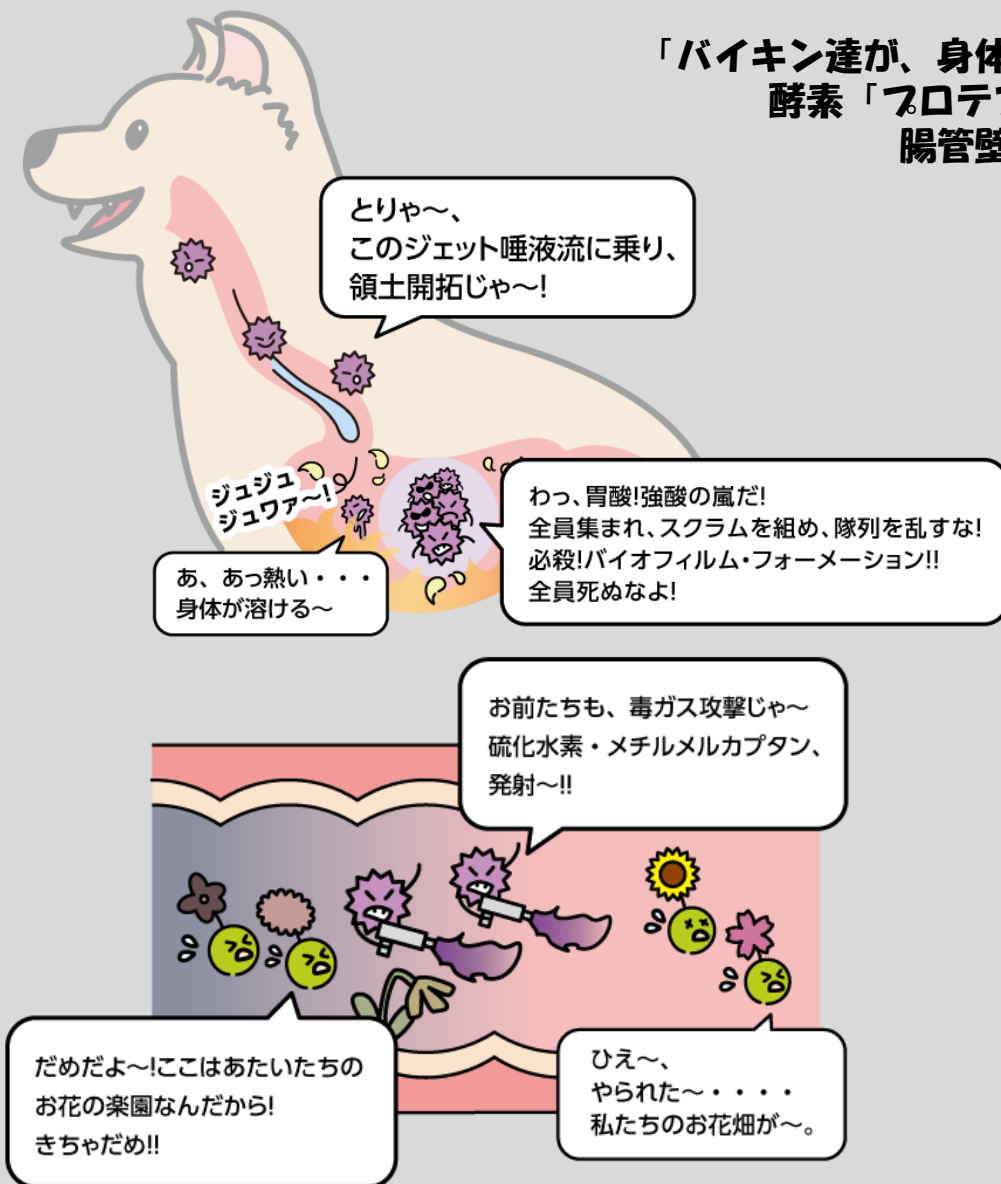


3. 保険・医療の共進化は免疫がドライバー～ノーベル賞受賞の制御性T細胞～



歯周病菌は、寝ている間も唾液に乗り、消化管に流れ込み
お腹の健康の護衛隊「多様な腸内細菌叢」に影響を与えます

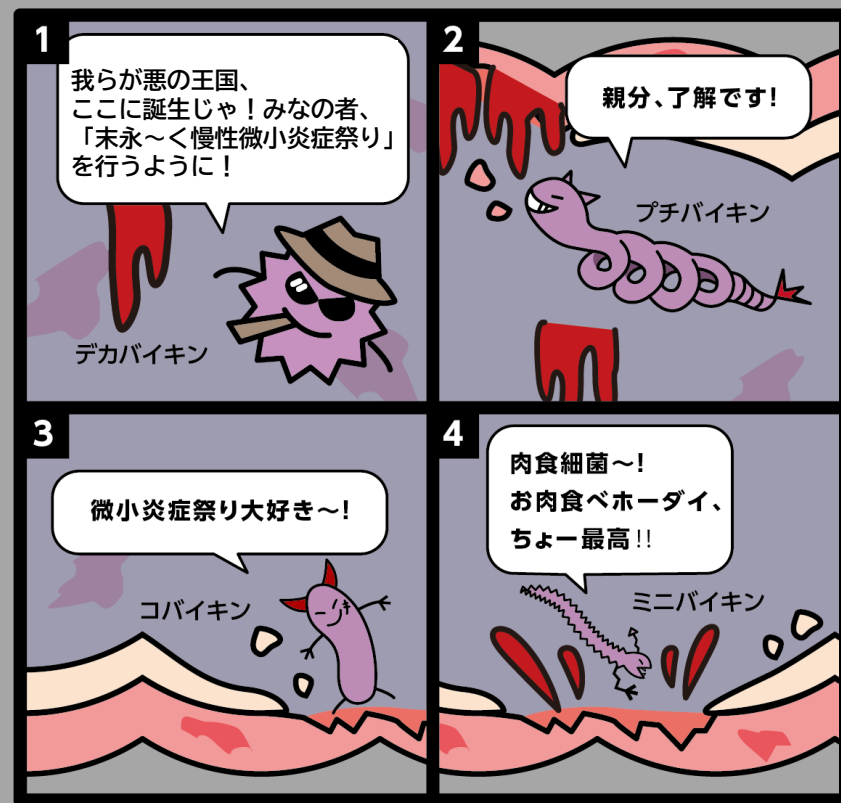
「バイキン達が、身体の構成要素であるタンパク質を分解する
酵素「プロテアーゼ」を産生してお腹の中でも
腸管壁を溶かしちゃってる！」



悪の肉食細菌・歯周病関連菌

バイキン達

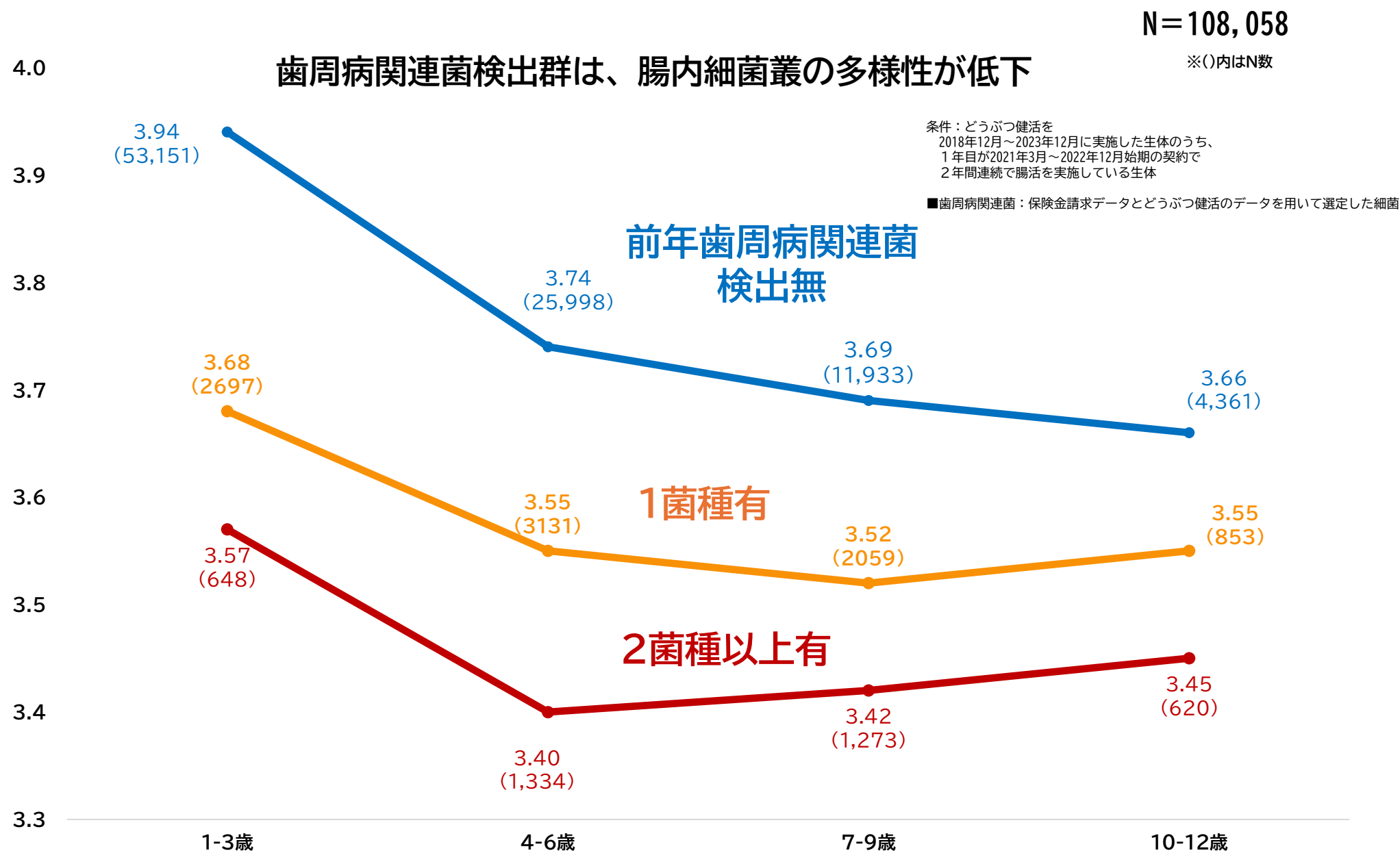
の消化管での様子を見てみると



3. 保険・医療の共進化は免疫がドライバー～ノーベル賞受賞の制御性T細胞～



腸内細菌叢の多様性指数



3. 保険・医療の共進化は免疫がドライバー～ノーベル賞受賞の制御性T細胞～



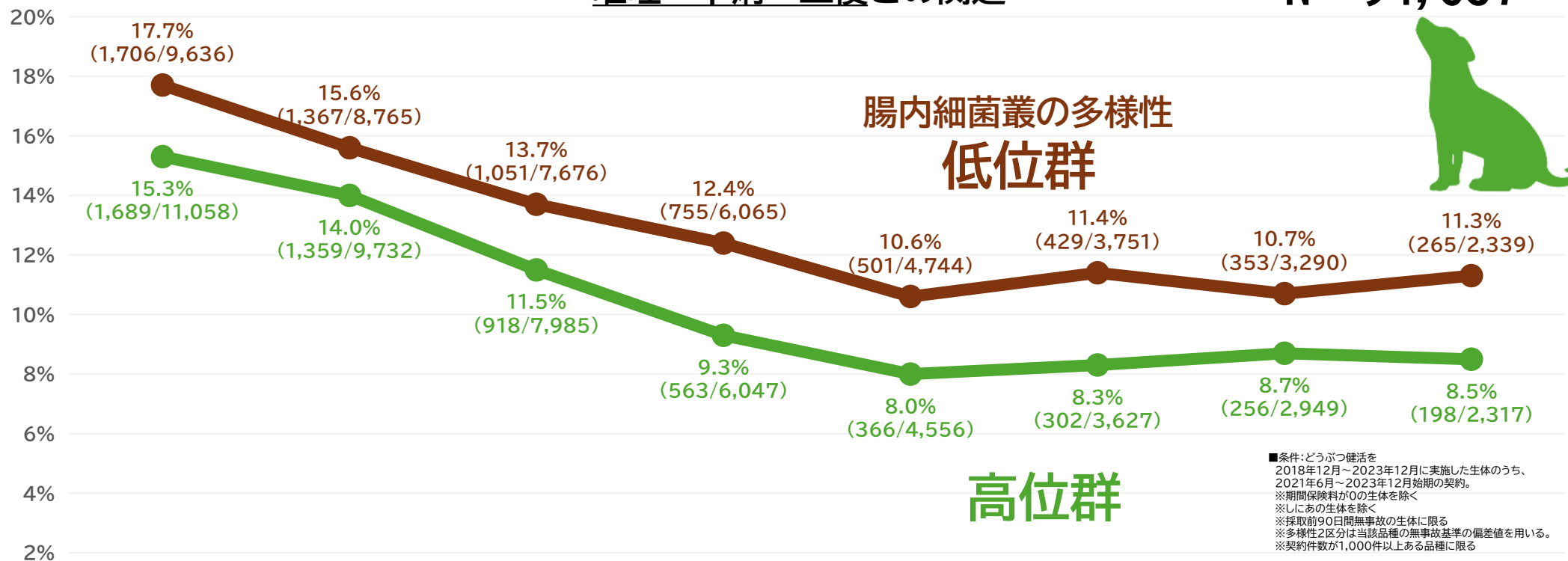
実際に、腸内細菌叢と免疫に関連する疾患との間に関連が見られる

嘔吐・下痢・血便との関連

《採取前90日無事故に限る》

N = 94,537

嘔吐・下痢・血便有病率



■条件: どうぶつ健活を
2018年12月～2023年12月に実施した生体のうち、
2021年6月～2023年12月始期の契約。
※期間保険料が0の生体を除く
※しにあの生体を除く
※採取前90日間無事故の生体に限る
※多様性2区分は当該品種の無事故基準の偏差値を用いる。
※契約件数が1,000件以上ある品種に限る

カイ二乗検定	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
P値による評価	***	*	***	***	***	***	†	*
リスクレシオ	1.16	1.12	1.19	1.34	1.31	1.37	1.24	1.33

3. 保険・医療の共進化は免疫がドライバー～ノーベル賞受賞の制御性T細胞～



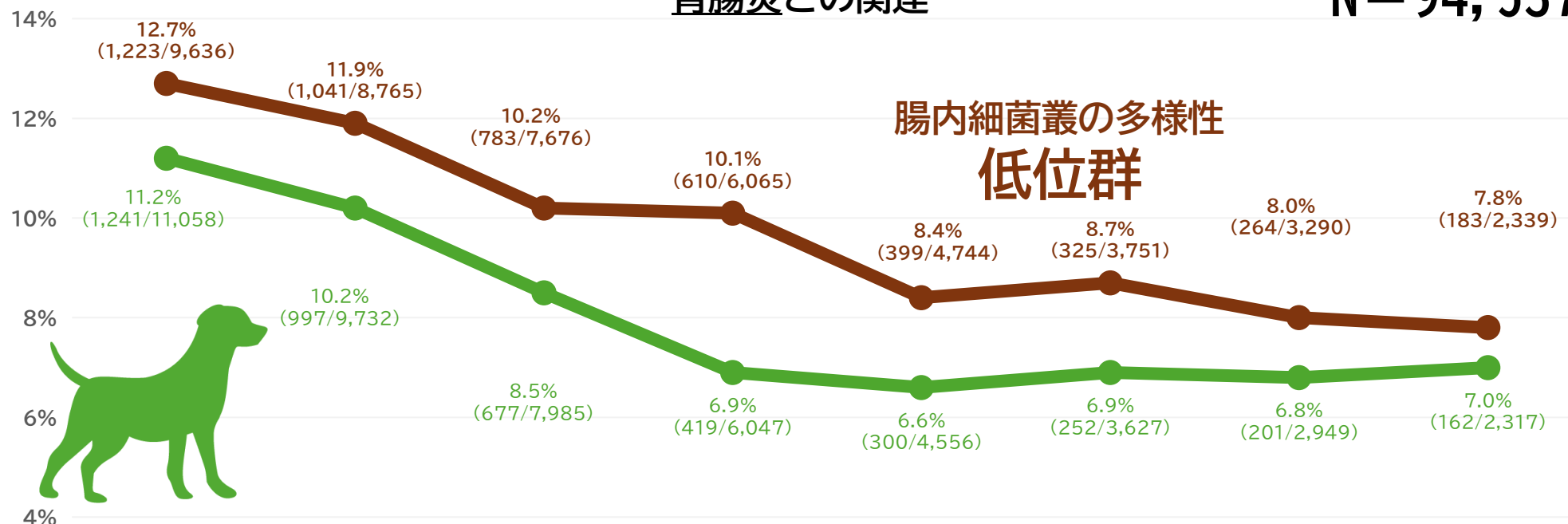
《採取前90日無事故に限る》

N = 94,537

胃腸炎との関連

腸内細菌叢の多様性 低位群

胃腸炎有病率



高位群

即ち、腸内細菌叢の多様性低下はリーキーガットに繋がる。

■条件: どうぶつ健活を
2018年12月～2023年12月に実施した生体のうち、
2021年6月～2023年12月始期の契約。
※期間保険料が0の生体を除く
※しにあの生体を除く
※採取前90日間無事故の生体に限る
※多様性2区分は当該品種の無事故基準の偏差値を用いる。
※契約件数が1,000件以上ある品種に限る

カイ二乗検定	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
P値による評価	**	**	**	***	**	*	-	-
リスクレシオ	1.13	1.16	1.20	1.45	1.28	1.25	1.18	1.12

3. 保険・医療の共進化は免疫がドライバー～ノーベル賞受賞の制御性T細胞～



《採取前90日無事故に限る》

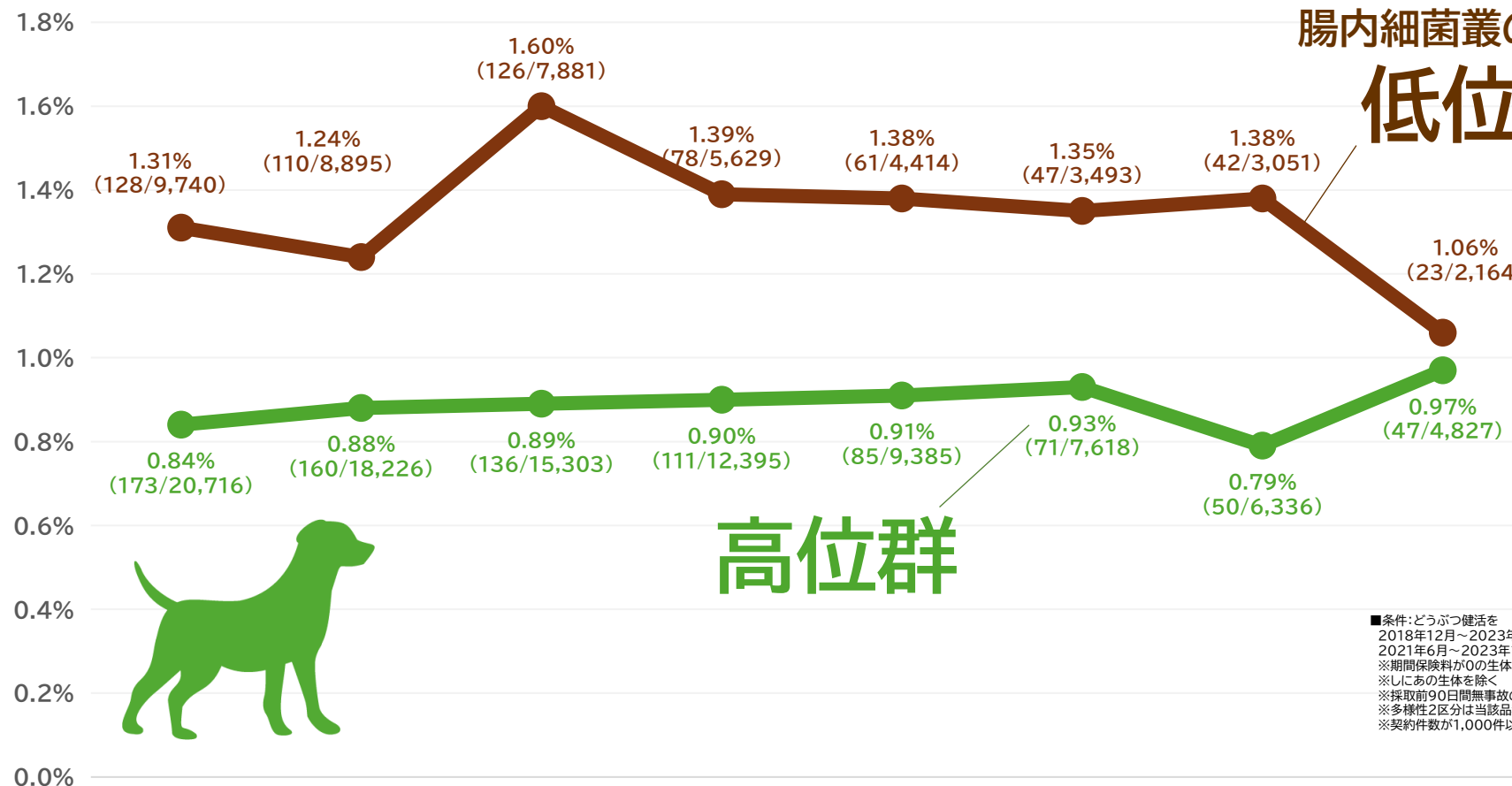
N = 140, 073

アトピー性皮膚炎との関連

腸内細菌叢の多様性

低位群

アトピー性皮膚炎有病率



■条件:どうぶつ健活を
2018年12月～2023年12月に実施した生体のうち、
2021年6月～2023年12月始期の契約。
※期間保険料が0の生体を除く
※しにあの生体を除く
※採取前90日間無事故の生体に限る
※多様性2区分は当該品種の無事故基準の偏差値を用いる。
※契約件数が1,000件以上ある品種に限る

カイ二乗検定	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
P値による評価	***	*	***	*	†	-	†	-
リスクレシオ	1.57	1.41	1.8	1.55	1.53	1.44	1.74	1.09

3. 保険・医療の共進化は免疫がドライバー～ノーベル賞受賞の制御性T細胞～



アレルギー性皮膚炎との関連

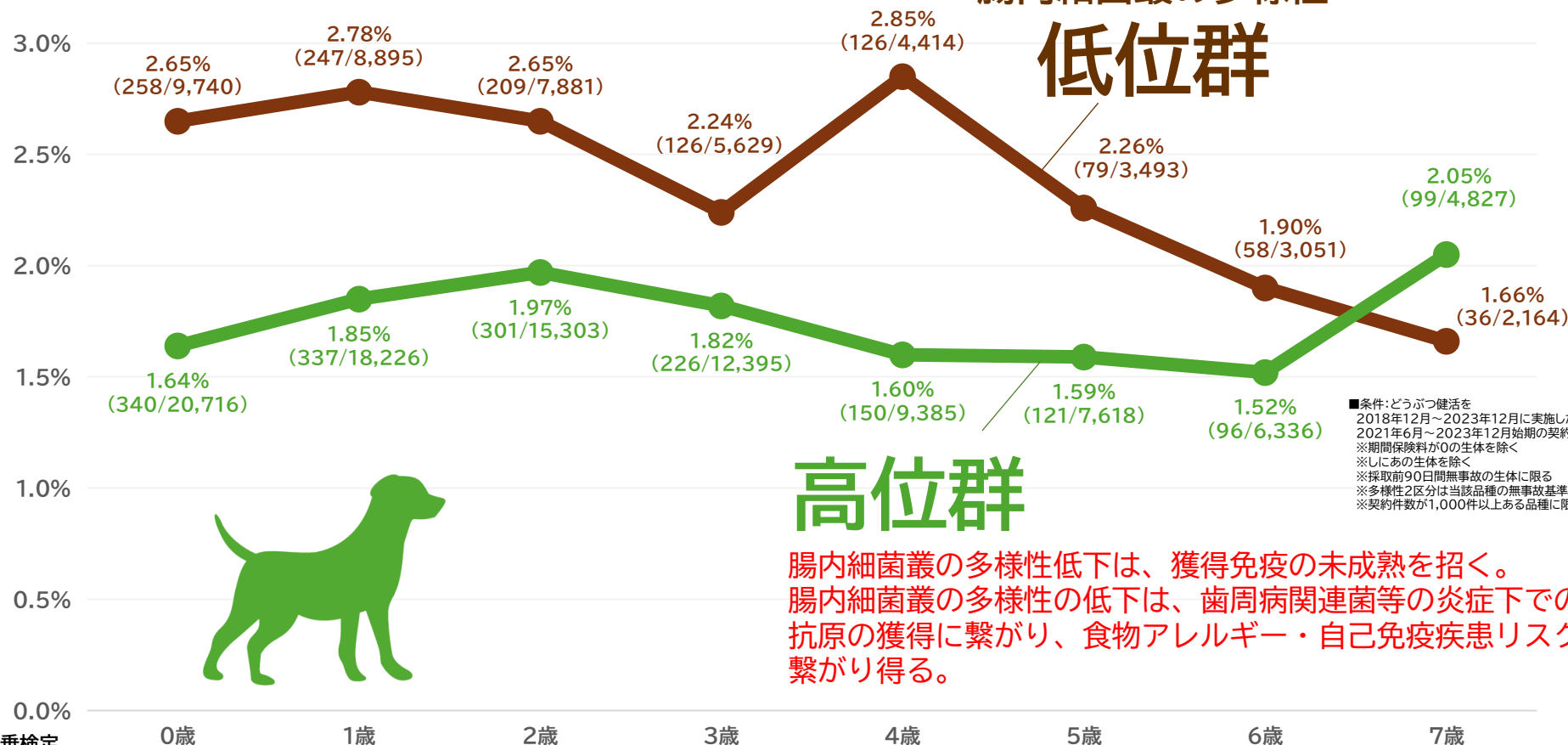
《採取前90日無事故に限る》

N=140,073

腸内細菌叢の多様性

低位群

アレルギー性皮膚炎有病率



■条件: とうぶつ健活を
2018年12月～2023年12月に実施した生体のうち、
2021年6月～2023年12月始期の契約。
※期間保険料が0の生体を除く
※しにあの生体を除く
※採取前90日間無事故の生体に限る
※多様性2区分は当該品種の無事故基準の偏差値を用いる。
※契約件数が1,000件以上ある品種に限る

高位群

腸内細菌叢の多様性低下は、獲得免疫の未成熟を招く。
腸内細菌叢の多様性の低下は、歯周病関連菌等の炎症下での、
抗原の獲得に繋がり、食物アレルギー・自己免疫疾患リスクに
繋がり得る。

P値による評価	***	***	**	-	***	-	-	-
リスクレシオ	1.61	1.50	1.35	1.23	1.79	1.42	1.25	0.81

3. 保険・医療の共進化は免疫がドライバー～ノーベル賞受賞の制御性T細胞～



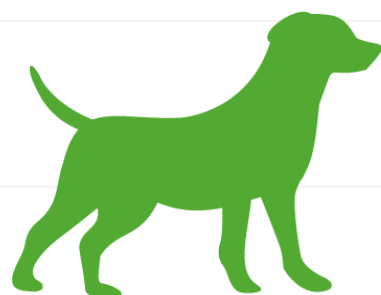
《採取前90日無事故に限る》

N=140,073

がん※との関連

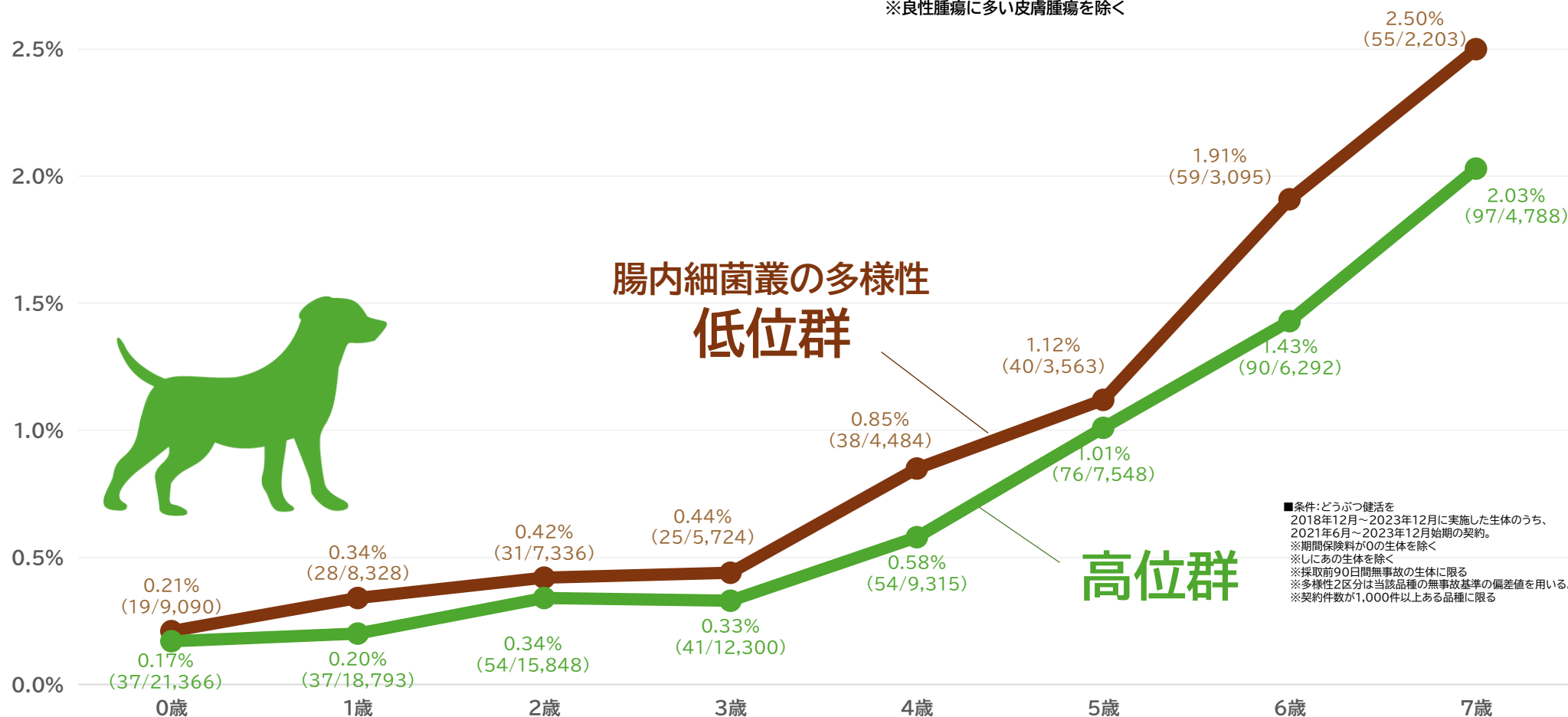
※良性腫瘍に多い皮膚腫瘍を除く

がん※有病率



腸内細菌叢の多様性
低位群

高位群

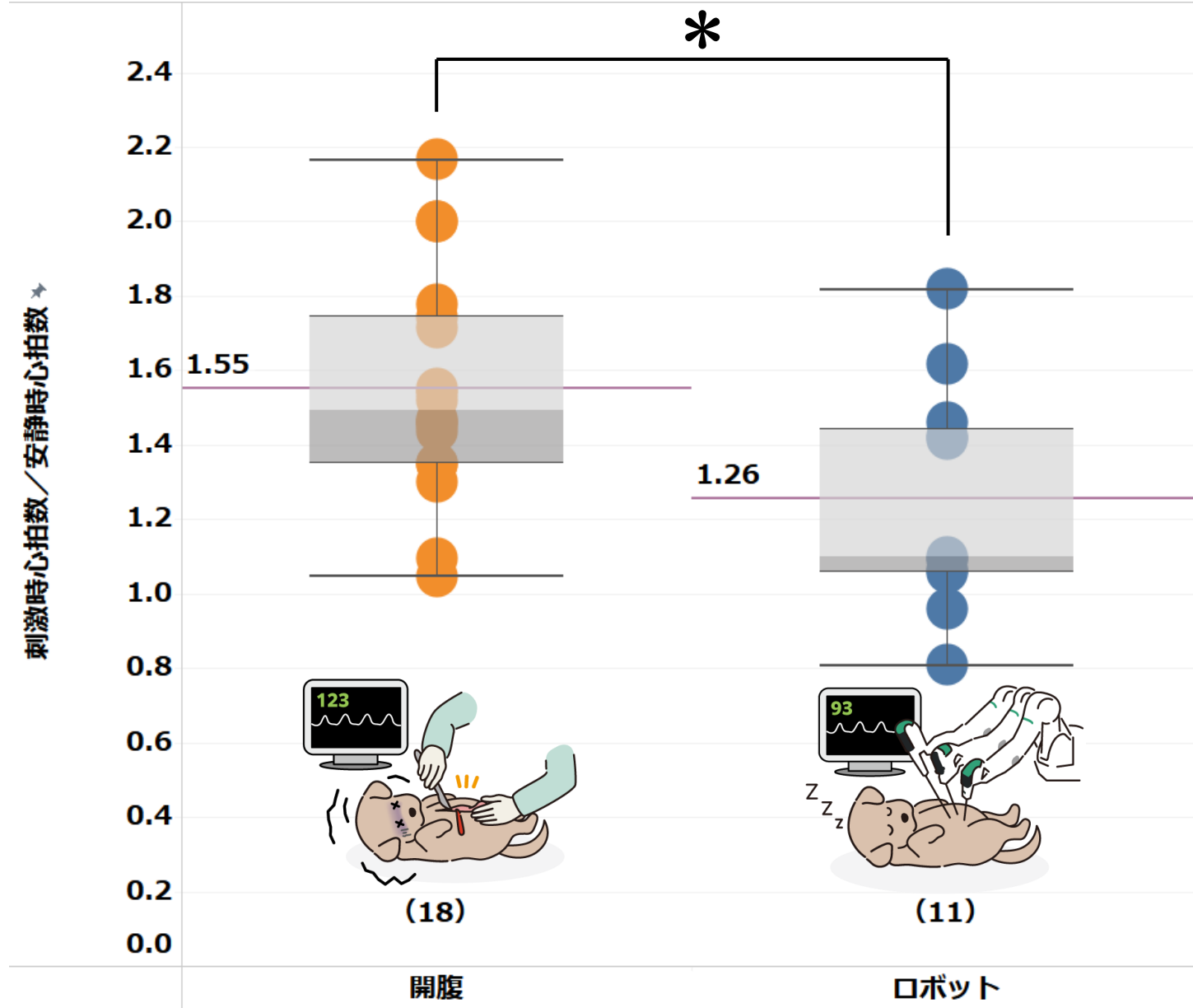


■条件: どうぶつ健活を
2018年12月～2023年12月に実施した生体のうち、
2021年6月～2023年12月始期の契約。
※期間保険料が0の生体を除く
※しにあの生体を除く
※採取前90日間無事故の生体に限る
※多様性2区分は当該品種の無事故基準の偏差値を用いる。
※契約件数が1,000件以上ある品種に限る

4. ペットがリード

(1)保険・医療のさらなる安心化オペの自動化

【犬】ロボオペ・開腹手術_安静時心拍数と最高心拍数の比の比較



データ数:29

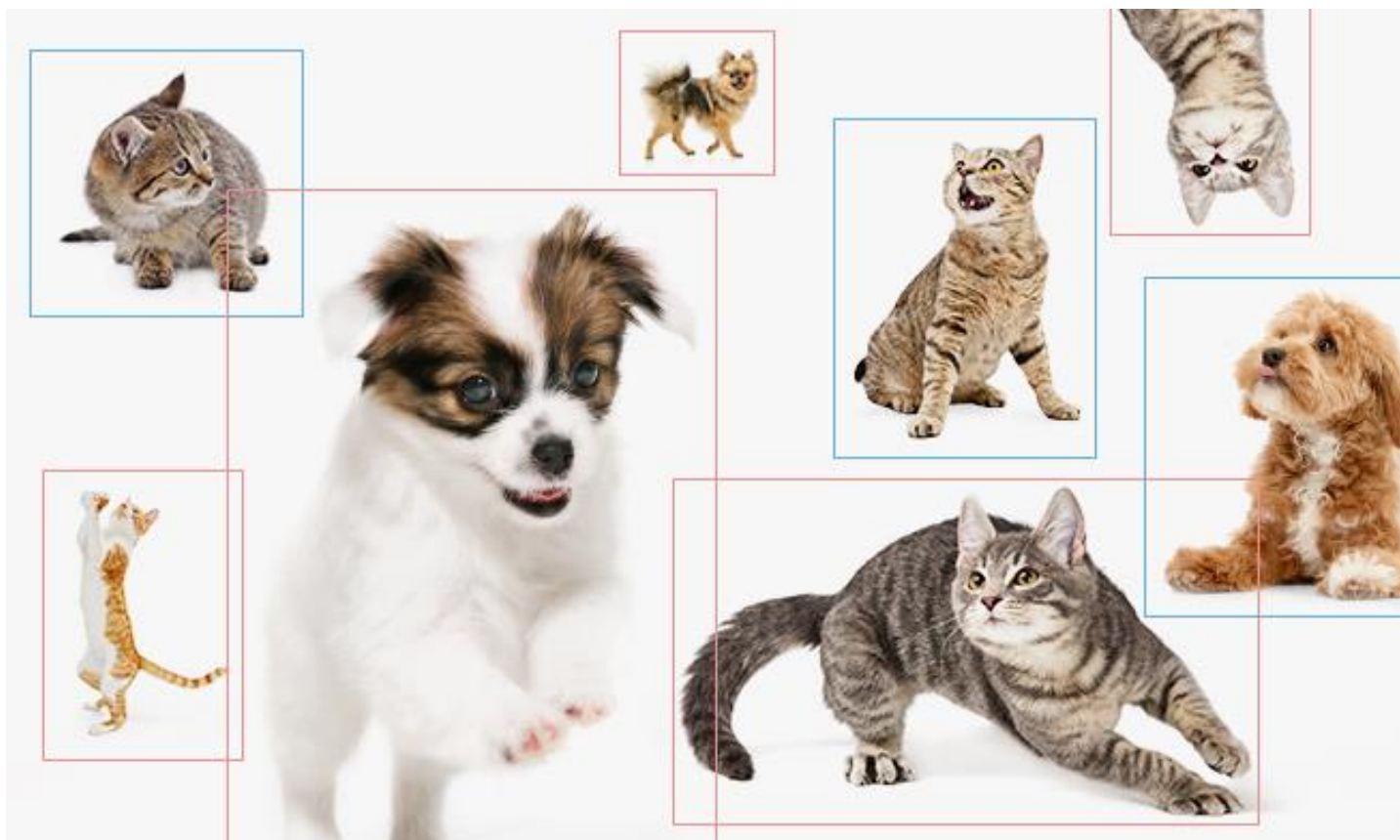
■アニコム先進医療研究所(株)取得:
麻酔記録データ
犬:spay単独のみ

両群の平均値を比較したところ、Welchのt検定(両側)で $p = 0.019$ (5%未満)となり、有意な差が確認された。対数補正による検証でも同様の結果が得られた。

4. ペットがリード

(2)犬・猫においても、数多くの独立した顔面筋や、首をかしげる・尻尾を振る等の複雑な動作から、一定の感情表現を行っていることが知られていた。

これに対し、既に、アニコムグループでは、日本のみならず、米国でも「どうぶつの行動からその感情を判定するAI特許」を取得している。



[AIを用いて「ペットの動画から感情を判定する」システムの特許を取得 | ニュース | ホールディングス ニュースリリース](#)

[ペットの動画から感情を判定するAIシステム、日本に続きアメリカでも特許を取得 | ニュース | ホールディングス ニュースリリース](#)

4. ペットがリード

(3)術後の感情変化を「開腹手術」と「ロボット手術」で比較したところ、「ロボット手術」の方が良好な状況であった可能性が得られている。

開腹手術

ロボット手術

通常の開腹（トイプー 6か月）

ロボット支援（トイプー 4歳）



笑顔メーター 50

笑顔メーター 60

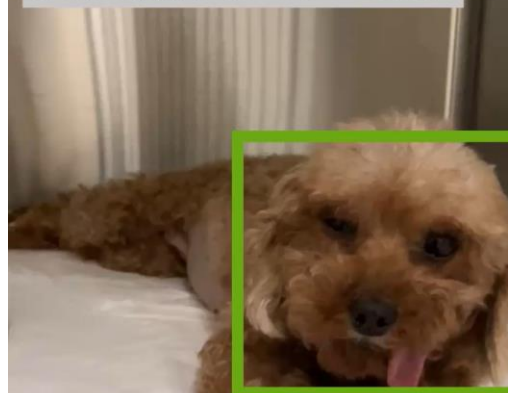
※動画はこちらから

開腹手術

ロボット手術

通常の開腹（トイプー 8歳）

ロボット支援（トイプー 7歳）



笑顔メーター 50

笑顔メーター 60

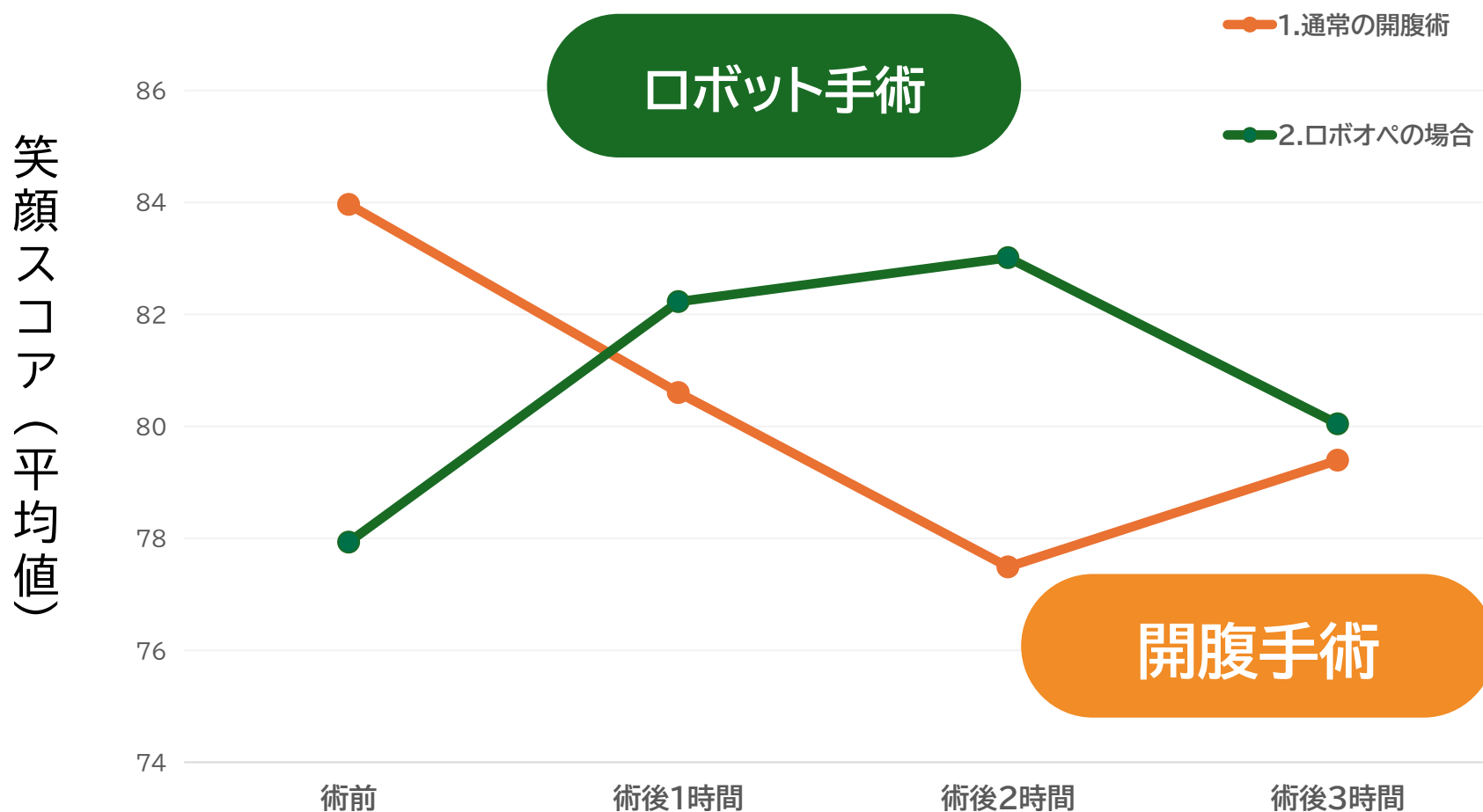
※動画はこちらから

言葉を話せないどうぶつとの会話が徐々に可能になりつつある。
ヒトと異なり、「どうぶつは高度な嘘をつかない・忖度しない」ことから、オペの新たな評価手法としても活用可能性がある。

4. ペットがリード

(4)術中の侵襲性を表す指標の一つとして見做し得る可能性がある「術前術後の笑顔の比較」についても、既に、これまでの「開腹手術」に比して、「ロボット手術」の方が、高位である可能性が示されている。

手術前後での笑顔AI判定結果



感情・心拍・行動データが医療の新たなKPIとなる。

